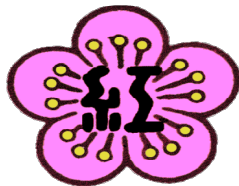


創立明治7年
開校147周年

令和3年度 紅梅小だより

赤塚っ子学びのエリア



紅梅



1月号

令和4年1月11日
板橋区立紅梅小学校
校長 小宮孝之

〇たくまい子 〇よく考える子 〇思いやりのある子

150周年へつなぐ年に

- 誇らしく生きる子供を育てる -

校長 小宮 孝之

明けましておめでとうございます

今年も子供たちの心と体の健康を心配しながら、冬休みに入ることになりました。皆様、健やかに新しい年をお迎えになられたでしょうか。



今年寅年です。十二支は、もともと植物が循環する様子を表しており、寅はその三番目、春が来て根や茎が生じ、成長する時期を表します。中国の歴史書『漢書』には、「寅」という字には「まっすぐに伸ばす、引っ張る」という意味があるとされています。まさに草木が伸び始める状態を表しています。また、虎は『決断力と才知』の象徴とされており、寅年生まれの方は前向きでチャレンジ精神が強く、強い信念と自信をもって挑んでいくため、リーダーに適していると言われています。

さて、3学期が始まりました。最も短い学期ではありますが、この時期こそ1年間の学習と生活の達成状況を自己評価し、次の学年への準備を始めるとも大事な時です。「次年度の0(ゼロ)学期」と考えています。子供たちが自信をもって次の学年に進級をしていくため、6年生は中学校に進学していくための構えを作っていきます。また、今年創立148周年の年でもあります。来たるべき150周年に向け、「地域と共に歴史に学び、誇りと共に未来へ育つ、繋がる 紅梅小学校」を旗印にして、本格的な準備をスタートさせます。

学校が子供に育てていく力は大きく二つ。「予測困難な時代を生きる力」と「誇らしく進んでいく力」です。「予測困難な時代を生きる力」という言葉は使い古された感さえありますが、その意味はまだ共通認識されていません。一般的には、「自らの課題を主体的に決める力」や「対話を通じて解決に至る力」のことを言いますが、こういうことができるためには、一体どのような基礎学力があれば良いのでしょうか。現代の「読み、書き、算盤」とは、何ができることを指すのでしょうか。そういうことをしっかりと研究し、指導に繋げていきます。

一方、「誇らしく進んでいく力」については、当

面のゴールを「700名の児童が、紅梅の子供であることを誇りに感じながら創立150周年記念式典に参列すること」とし、取り組んでいきます。「愛校心」です。愛校心が育つ原点は、自己有用感だと思えます。まずは自分が他者から認められることで「自分は自分でよいのだ」と思うことができます。それができて初めて周りへ目を向けることができる心のゆとりが生まれていきます。ですから、今の自分を誇らしく思う子供を育てることを大事にしていきます。そして、そんな自分が育まれた郷土を誇りに思う気持ちにつなげていきたいと思えます。

周年に関わる様々な行事や教育活動に関しては、来年度は周年準備委員会を立ち上げ、プロジェクトとして始めていきます。例えば、校庭に新たに設置される田・畑の活用方法や、近隣の赤塚植物園の計画的な利用などが喫緊の課題になっていきます。こうしたことに保護者や地域の方に深く携わって頂くことで、「開かれた学校」として、「地域とともにある学校」を作って参ります。

- ・質の高い授業を通して、全ての子供たちに基礎基本の学力と、プレゼンテーション・コミュニケーションの力を付けさせます。
- ・全員に居場所をつくり、誇りをもたせます。
- ・農業文化などの教育活動を通して、地域と一層強固につながっていきます。

早起きの辛い時期はもう少し続きます。お正月気分でのんびりしていると、朝の時間はあっという間に過ぎていきます。朝食も取らず駆け足で登校すると、その日は一日中疲れたようなだるさを感じたまま過ごさなければなりません。「明るく登校、楽しく下校」を実現するために、今年も全力で子供たちとともに前進していきます。ご家庭でも健康な身体と生活リズムをつくっていただけると幸いです。

本年も本校の教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

子供たちの確かな成長を応援するために、本年も全力で教育活動に邁進します。どうぞよろしくお願いいたします。